

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

| | | | |
|--------------|---|--------------|------------------------|
| ① 研究課題名 | サルコペニアの有無による敗血症に対する早期経腸栄養の効果の違い：後方視的検討 | | |
| ② 実施予定期間 | 倫理審査委員会承認後～2019年3月31日 | | |
| ③ 対象患者 | ④の対象期間中に当院で治療の行われた敗血症の患者さん | | |
| ④ 対象期間 | 2010年1月1日～2017年8月31日 | | |
| ⑤ 研究機関の名称 | 山口大学医学部附属病院 | | |
| ⑥ 対象診療科 | 先進救急医療センター | | |
| ⑦ 研究責任者 | 氏名 | 藤田 基 | 所属 大学院医学系研究科 救急・総合診療医学 |
| ⑧ 使用する情報等 | 患者さんの背景（年齢・性別など）や状態、腹部CT画像データ、血液検査結果など、通常の診療において得られる診療情報を用います。 | | |
| ⑨ 研究の概要 | <p>敗血症のような重症な患者さんでは、しばしばチューブを用いた栄養や点滴での栄養を必要としますが、チューブで胃・腸に栄養剤を入れる方法(経腸栄養)には長所・短所があり、早く始めるべきかが分かっていません。また、栄養治療の効果は、患者さんの元の状態にも影響されることが予想され、早く経腸栄養を開始する方がよい患者さんを明らかとすることが必要です。</p> <p>サルコペニアは、全身の筋肉がやせ衰えた状態であり、栄養療法がより重要な患者さんではないかと考えられています。そこで今回は、サルコペニアのある患者さんとなない患者さんで、早くから経腸栄養を行った場合と行わなかった場合での治療成績の差があるかを検討します。</p> | | |
| ⑩ 倫理審査 | 倫理審査委員会承認日 | 2018年 1月 15日 | |
| ⑪ 研究計画書等の閲覧等 | 研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。 | | |
| ⑫ 結果の公表 | 研究終了後に投稿論文として公表します。 | | |
| ⑬ 個人情報の保護 | 患者さんの秘密保護に十分配慮します。研究の結果を公表する際は、患者さんを特定できる情報を含まないようにします。 | | |

| | | | |
|-------------------|-------------------------------|--------------|------------------|
| ⑭ 知的財産権 | 山口大学に帰属します。 | | |
| ⑮ 研究の資金源 | 救急・総合診療医学講座の奨学寄附金を用います。 | | |
| ⑯ 利益相反 | 全ての研究者において、本研究に関する利益相反はありません。 | | |
| ⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口 | 山口大学医学部附属病院 先進救急医療センター 古賀 靖卓 | | |
| | 電話 | 0836-22-2343 | FAX 0836-22-2344 |